

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通会議
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	平成22年2月19日(金) 午後3時～5時
開催場所	前原暫定会議室
出席者	小金井市地域公共交通会議委員及び事務局職員 (別添名簿のとおり)
傍聴の可否	可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	小金井市地域公共交通会議設置要綱第5条第8項の規程による。
会議次第	1 あいさつ 小金井市長 稲葉 孝彦 2 報告事項 3 議題 (1) C o C oバス・ミニ(野川・七軒家循環)の本格運行について (2) C o C oバス・ミニのスクールバスへの車両の活用について (3) その他 今後(平成22年度)の予定
会議結果	次回会議で、野川・七軒家循環の本格運行に向けた乗り残しの対策について審議する。
発言内容・ 発言者名(主な 発言要旨)	議題(1) C o C oバス・ミニ(野川・七軒家循環)の本格運行について A委員 リフトについて、収容方法等を説明してほしい。 市 リフトについては、車椅子ごと収容可能である。ただし、車椅子を収容すると席数が2席分減る。リフトを利用する際は乗務員が手伝う。

<p>発言内容・ 発言者名（主 な発言要旨）</p>	A 委員	今までに、車椅子の利用等で事故が起きたことはあるか。
	市	運行開始以来、車椅子の利用者がいない。利用促進の一環で、車椅子の方々に利用を呼びかけたことはある。事故については、試験運行中なので細心の注意を払うように指導している。
	A 委員	他に問題はあるか。
	市	中前橋南停留所に乗車待ちの人々が並ぶために、停留所前の家の出入りに支障をきたしている。このため、市としては停留所の移設を検討しているが、移設先の近隣住民の協力を得られない。
	G 委員	当社は福祉タクシーもやっているのですが、車椅子の取り扱い等については、乗務員に研修を課している。運行については、10～20kmの速度厳守を徹底している。市への要望としては、カーブミラーをつけてほしい箇所がある。
	B 委員	循環名・停留所名をわかりやすい名称にすれば、観光としての特色をさらに出せるのではないか。
	市	循環名の七軒家は、昔からの名残りが残り地域の人々に親しまれている。市外へのアピールについては、駅前に大きい案内版を設けるような構想がある。
	C 委員	事故が起きた時のつくばの対応について教えてほしい。予備車専用の乗務員というのは、常時待機しているのか。
	G 委員	予備車専用の乗務員はいないが、事務所には二種免許証所有の社員が常時いるので、緊急時の対応はできる。
	D 委員	乗り残しが慢性化したことで、利用を諦めている人がいると聞いたことがある。市ではどう思っているのか。
市	南口に停留所移設直後は、乗り残しに関するクレームが多々あったが、夏場以降そういった声が少なくなってきた。D委員の発言通り、諦めている利用者が潜在的に多いと感じる。	
A 委員	起点での時間調整を縮めて、もう少し便数を増やせないのか。	
市	時刻表を煩雑化することはできないので、現行ルートの見直しを優先課題としたい。	

<p>発言内容・ 発言者名（主 な発言要旨）</p>	D 委員	野川・七軒家循環は潜在的な利用者が多いので、需要に見合った運賃の値上げを検討してみてもどうか。本格運行へと移行する時期なので、運賃も変更しやすいと思う。
	市	市長の方針として、C o C oバスは市民が利用しやすいようにワンコイン（100円）を特色にしているので、運賃の値上げは考えていない。乗り残し問題の解決は、運行ルートの見直しといった視点から取り組みたいと考えている。
	E 委員	乗客が立てるスペースを設けることはできないのか。
	会長	乗車定員20人以下で座席を排除できる車両は、自動車業界を見ても市場に出回っていない。現時点で、ハイエースは妥当な選択である。
	F 委員	本格運行後に、運行時間の変更等があった場合はどうするのか。
	H 委員	本格運行後に運行時間の変更等があった場合でも、規定の手順を踏めば問題ない。ただし、変更等がある際、委員通知は必須である。
	F 委員	7月以降、本格運行に移行するのであれば、現時点で抱えている問題は解決すべきでないか。それが試験運行の意義である。
	市	野川・七軒家循環は、運行開始前の予想をはるかに超える利用者数で需要度が高く、もはや運行自体を止めるわけにはいかない。市としては、本格運行への移行を第一と考えている。現時点で表面化している乗り残し問題については、平成22年度に市民意向調査を行うので、その調査時に他の循環も含めて問題を整理したい。
	会長	事務局は、本日の会議で合意を得たいということか。
	市	7月31日までが試験運行のため、5月の連休前までには申請を行いたい。よって、本日の会議で委員皆様方の合意を得たい。
会長	しかし、現時点で表面化している乗り残しの問題をさしおいて、本格運行へ移行するのはどうかと思う。市の要望を踏まえ、本日中に同意の是非は問うが、連休前に再度会議を開いて、乗り残しの対策に	

<p>発言内容・ 発言者名（主 な発言要旨）</p>	市	<p>ついて明確な案を出すのはどうか。 わかりました。では、4月中に再度会議を開きま す。</p>
	会長	<p>それでは、野川・七軒家循環の本格運行への決議 をいたします。</p>
	各委員	<p>（満場一致で合意。）</p>
	議題(2)	<p>C o C oバス・ミニのスクールバスへの車両の活 用について</p>
	市	<p>小金井市立小金井第一小学校の特別支援学級の児 童を対象に、スクールバスを毎朝運行しております。 登校する際の安全確保を目的とした送迎です。しか し、収容乗車人数の限界から児童を一度に送迎でき ない問題を抱えております。よって、一方の児童は 登校時間が早く、他方の児童は登校時間が遅いとい う両極端の状況が生まれているのです。こうした背 景から、今回私共は登校時間の改善を目的に、C o C oバス・ミニを有効活用したいと考えております。 なお、業者選定は競争入札の方式で行いますので、 必ずしもC o C oバス・ミニの運行事業者であるつ くば観光(株)が選ばれるとは限りませんので、ご了 承下さい。</p>
	I 委員	<p>競争入札であるのに、ここで審議をする意味があ るのか。C o C oバス・ミニを使用する前提がない 以上、ここで同意を得て競争入札の流れに運ぶのは 筋としておかしい。そもそも、すでにC o C oバス・ ミニを所有しているつくば観光(株)に有利な競争入 札ではないのか。</p>
	J 委員	<p>つくば観光(株)の主導で、こうした提案をしている のであれば、競争入札であってもこの場で審議する 価値がある。しかし、今回は小金井市の主導であり、 競争入札を管理する立場がこうした行動をとるのは、 やはりおかしい。</p>
	K 委員	<p>現在、児童を乗せているのは、どこの業者なのか。</p>
	市	<p>十全交通(株)が運行しております。</p>
	M 委員	<p>私共も、コミュニティバスを運営しているが、今 回のC o C oバス・ミニを特例として扱っていただ きたい。有効活用という名目があったとしても、運</p>

	<p>行事業者の立場から言えば、なんでも協力できるという認識は持ってほしくない。</p> <p>会長 I 委員の発言通り、ここで審議をする段階ではない。まずは、事務局側で入札方法の変更等を含めた検討をお願いしたい。</p> <p>市 わかりました。入札方法等含め再検討いたします。</p>
<p>提出資料</p>	<p>(1)武蔵小金井駅南口タクシー乗車場移設のお知らせ (2)バスルート図 (3)月別／時間帯別／停留所別 積み残し客数及び回数の状況 (4)市報こがねい 平成22年1月1日号 (5)野川・七軒家循環の本格運行について (6)スクールバス運行委託その2 仕様書</p>
<p>その他</p>	<p>次回、乗り残しの問題について、市の対策案を提出する。</p>